

ふくおかの経済

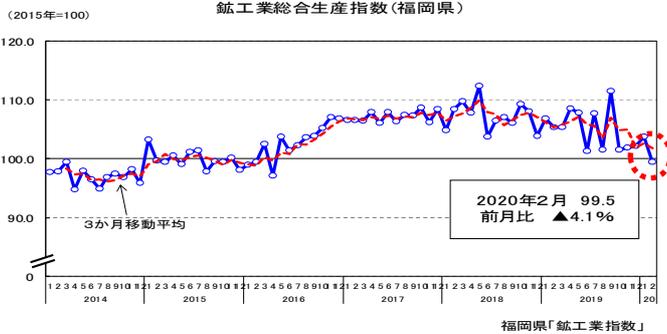
令和2年4月号



生産

新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

2月の生産指数は、輸送機械工業などの低下により4か月ぶりに前月を下回っています。

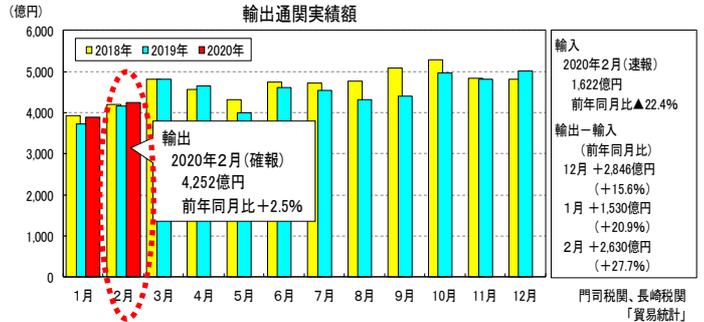


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は、おおむね横ばいとなっている。輸入は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている。

2月の輸出は、半導体等電子部品などの増加により3か月連続で前年を上回っているものの、おおむね横ばい傾向で推移しています。



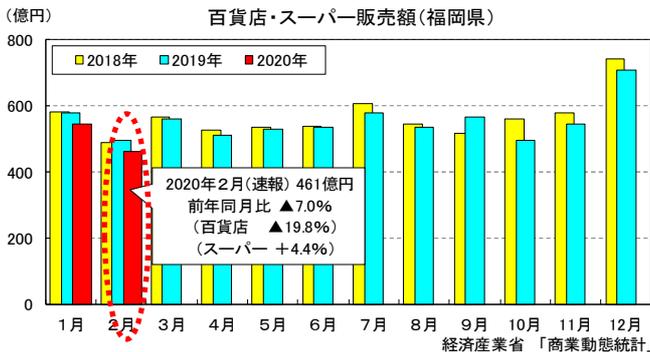
輸入
2020年2月(速報)
1,622億円
前年同月比▲22.4%
輸出-輸入
(前年同月比)
12月+2,846億円
(+15.6%)
1月+1,530億円
(+20.9%)
2月+2,630億円
(+27.7%)

門司税関、長崎税関「貿易統計」

消費

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で急速に下押しされ、弱い動きとなっている。

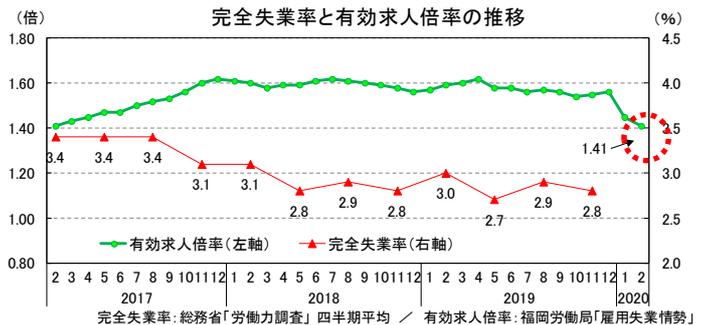
2月の百貨店・スーパー販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、5か月連続で前年を下回りました。



雇用

求人が求職を上回っているものの、改善の動きが弱まっている。

2月の有効求人倍率は1.41倍で、前月を0.04ポイント下回りました。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

今月のトピック 国勢調査を機に考える、これまでの25年とこれからの25年

○2020年は、国勢調査が実施される年です。国勢調査は、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年ごとに行われており、今年からは、開始からちょうど100年目にあたる節目の年となっています。ここでは、2015年の国勢調査を基準として、その25年前の国勢調査と25年後の将来推計調査を比較し、福岡県の人口と就業者の長期的な推移をみていきます。

○福岡県の人口は1990年から2015年にかけて約30万人増えた一方、2015年から2040年にかけて約40万人減少すると予測されています。

○また、県の就業者の推移をみると、1990年から2015年、2015年から2040年にかけて、いずれも15~64歳人口の減少等にとまなない、その年齢層の男性就業者数は減少しているものの、女性及び高齢者の就業者が増えていることから、全体の就業者は増加しています。今後も女性や高齢者の就業推進を進めていくことが重要ですね。

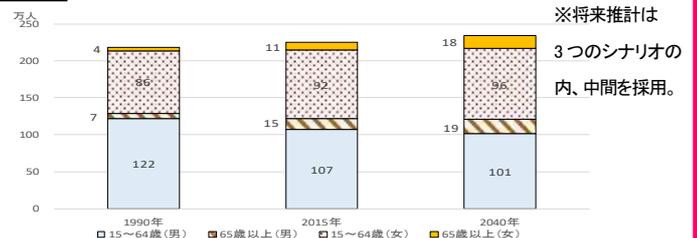
図1 1990年、2015年の人口と2040年の将来推計人口(福岡県)

	1990年	2015年	2040年
人口総数	4,811,050	5,101,556	4,704,812
15歳未満	913,259	684,605	561,627
15~64歳	3,298,170	3,096,234	2,556,972
65歳以上	599,621	1,320,717	1,586,213
うち65~74歳	355,861	685,482	664,173
うち75歳以上	243,760	635,235	922,040

	1990年→2015年	2015年→2040年
人口増減数	290,506	▲396,744
15歳未満	▲228,654	▲122,978
15~64歳	▲201,936	▲539,262
65歳以上	721,096	265,496
うち65~74歳	329,621	▲21,309
うち75歳以上	391,475	286,805

※年齢不詳については5歳階級別の人口比率により按分
出所:1990年、2015年 総務省「国勢調査」
2040年 国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

図2 男女別、年齢(2区分)別就業者数の推移(福岡県)



出所:1990年、2015年 総務省「国勢調査」

2040年(独)労働政策研究・研修機構「労働力需給の推計—全国推計(2018年度版)を踏まえた都道府県別試算—」